

『第23回全国高等学校総合学科教育研究大会 青森大会』にて 本校教員 実践発表

11月1日(木)～11月2日(金)、「縄文のふるさと」青森で開催されました。内容は、公開授業(青森県立木造高等学校・尾上総合高等学校)、講演・研究発表(リンクモア平安閣市民ホール)、分科会(ウェディングプラザアラスカ)で、全国から総合学科高校の教員が集い、総合学科における工夫ある取組の成果や展望について協議を行いました。

第4分科会において、「総合学科としての特徴的な取組・特色ある取組」として、本校教員(橋本宏恵先生)が「**全校でひらく総合学科のNIE ～NIE全国大会での発表とその後～**」と題し、杏和高校でのNIE実践について発表を行いました。NIE(Newspaper in Education)は「教育に新聞を」というキャッチフレーズで、新聞を使って教育活動を進めるものです。

本校では、平成26年度からNIEを推進し始め、平成27年度にNIE実践指定校となり、その取組が全校に広がり現在も継続しているという内容を発表しました。他に発表された大分県立佐伯豊南高等学校の堂脇真理子先生とともに参加者の方々と盛んな協議を行なうことができたようです。

